

2021年～2022年寄贈・受領サボテン・多肉植物の植栽展示について

磯部実・高井敦雄・堀川大輔・上野明楽

2021年12月1日と2022年3月15日に下関園芸センターより4種類8株、また7月16日と10月22日に広島市佐伯区皆賀在住のサボテン愛好家であった故林謙三氏の遺族の方より30種類44株合わせて計34種類52株のサボテン・多肉植物の寄贈を受けた（別添寄贈・受領リスト参照）。

寄贈を受けたサボテン・多肉植物は随時サボテン温室の科ごとの植栽コーナーへ植栽・展示するか、栽培温室のサボテン・多肉植物栽培スペースにて鉢植えで管理し、開花時にはサボテン温室で展示した（別添図1～12参照）。

2022年12月末時点において23種（品種）29株をサボテン温室の各コーナーに植栽・展示した。これまで植栽・展示できなかった残り11種23株は栽培温室にて栽培し、大きく育ったものから順次植栽・展示していく予定である。

2021、2022年サボテン・多肉植物寄贈・受領リスト

	植物名	科名	数量	形状	受領日	受領先
1	アエオニウム・園芸品種	ベンケイソウ科	2	5号鉢植え	12月1日	A
2	エケベリア・園芸品種	〃	1	4号鉢植え	12月1日	〃
3	ヘリアントセレウス・湘南丸	サボテン科	4	地堀株草丈170cm	3月15日	〃
4	ハナキリン・桃花八重園芸品種	トウダイグサ科	1	5号鉢植え	〃	〃
5	ハマトカクタス・大虹	サボテン科	1	6号鉢植え	7月16日	B
6	デนมザ・紅蓮竜	〃	1	6号鉢植え	〃	〃
7	ペレスキア?・月の精	〃	1	7号鉢植え	〃	〃
8	アストロフィツム・般若	〃	1	6号鉢植え	〃	〃
9	アストロフィツム・大鳳玉	〃	1	5号鉢植え	〃	〃
10	アストロフィツム・黄鳳玉	〃	1	5号鉢植え	〃	〃
11	アストロフィツム・白鸞鳳玉	〃	1	5号鉢植え	〃	〃
12	アストロフィツム・鸞鳳玉ストロングロゴナム	〃	1	5号鉢植え	〃	〃
13	アストロフィツム・兜丸	〃	5	4号鉢植え	〃	〃
14	マミラリア・長刺白竜丸	〃	1	7号鉢植え	〃	〃
15	マミラリア・黄神丸	〃	1	6号鉢植え	〃	〃
16	マミラリア・カルメナエ	〃	1	5号鉢植え	〃	〃
17	マミラリア・白星	〃	3	5-7号鉢植え	〃	〃
18	ロフォフォラ・鳥羽玉	〃	5	3.5号鉢植え	〃	〃
19	ロフォフォラ・翠冠玉	〃	1	3.5号鉢植え	〃	〃
20	テフロカクタス・武蔵坊	〃	1	5号鉢植え	〃	〃
21	アガベ・笹の雪	キジカクシ科 =リュウゼツラン科	1	8号鉢植え	〃	〃
22	ノリナ・トックリラン	〃	1	10号鉢植え	〃	〃
23	アデニア・グラウカ	トケイソウ科	1	8号鉢植え	〃	〃
24	パキポジウム・白馬城	キョウチクトウ科	1	6号鉢植え	〃	〃
25	ユーフォルビア・スパーバリダ	トウダイグサ科	1	4号鉢植え	〃	〃
26	ユーフォルビア・サキエレンツム	〃	1	6号鉢植え	〃	〃
27	ゴクラクチョウカ	ゴクラクチョウカ科	4	6号鉢植え	〃	〃
28	セレウス・岩石柱	サボテン科	1	地堀株草丈150cm	10月22日	〃
29	クレイストカクタス・黄金紐	〃	1	地堀株草丈100cm	〃	〃
30	フェロカクタス・黄彩玉	〃	1	地堀株直径35cm	〃	〃
31	マカイロセレウス・入鹿	〃	2	地堀株長さ120cm、長さ25cm	〃	〃
32	ギムノカリキウム・新天地	〃	1	地堀株直径18cm	〃	〃
33	ソエレンシア・湘陽丸	〃	1	地堀株直径30cm	〃	〃
34	カルネギア・弁慶柱	〃	1	地堀株草丈25cm	〃	〃

受領先

A：下関市園芸センター

B：故林謙三氏



図1 下関園芸センターの柱サボテン湘南丸の栽培・展示状況 (2021年12月)



図2 本園サボテン温室での湘南丸の移植後の展示状況 (2022年11月)



図3 故林謙三氏宅温室内のアストロフィツム属など球サボテン類鉢植えの栽培状況 (2022年7月)



図4 受領したサボテン・多肉植物の鉢植えを植物公園に搬入した時の様子(2022年7月)



図5 受領した鉢植えの白星(左写真)や兜丸(右写真)など生育の良いものは本園サボテン温室に鉢植えのまま定植し展示した(2022年7月)



図6 故林謙三氏宅の地植えの大型サボテン類の栽培状況(2022年7月)



図7 岩石柱は運搬時には緩衝材で巻いて木枠で固定した (2022年10月)



図8 展示場所に定植終了した岩石柱、鉄棒の支柱に固定し、下側の木枠はしばらくそのままにして様子を見ることにした (2022年11月)



図9 黄彩玉など球サボテン類は鉢植えにする (2022年10月)



図10 鉢植えのまま定植した球サボテン黄彩玉(左)と入鹿(右) (2022年11月)



図11: 受領したサボテンを定植したサボテン科展示コーナー (本園サボテン温室内) の風景 (2022年11月)